

# Noism Company Niigata 評価書

## 17thシーズン（令和2年9月～令和3年8月）

団体名	新潟市民芸術文化会館		
運営者	(公財)新潟市芸術文化振興財団	活動期間	令和1年9月1日 ～ 令和4年8月31日
所在地	中央区一番堀通町3番地2		
カンパニー概要	設立年月:平成16年4月 (経緯) ①市民ミュージカル「家なき子」に金森穰氏が出演 ②金森穰氏に舞踊部門芸術監督就任を打診 ③金森穰氏から専属舞踊団の設立提案を受け、(公財)新潟市芸術文化振興財団と新潟市との協議のうえ、専属舞踊団設立に同意 Noism芸術監督:金森 穰(演出振付家、舞踊家) 団員数:Noism副芸術監督1人、Noism2リハーサル監督1人、専属ダンサー19人(Noism1:11人、Noism2:8人)、専属スタッフ4人 (令和2年2月28日現在) 専属契約:個々のダンサーと契約を締結 ※ダンサーは新潟市に居住することが条件		

設置目的	
(1)新潟において、質の高い新たな舞踊作品を創造し、全国・世界に向けて発信する。	
(2)地方から大都市に向けての新たな舞台作品の創造・発信のネットワークを形成する。	
(3)活動を通して、新潟における舞踊の普及・育成などを図り、市民文化の振興に貢献する。	
成果目標	
【上演活動】	
①質の高い舞踊作品を創造し、全国・世界に向けて発信する。	
【地域貢献】	
①ニーズ調査及び実施準備が整い次第、ワークショップ、アウトリーチ、スクール事業等の実現に取り組み、新潟市民のNoismに対する認知度を向上を図る。	
②これまで実施してきた普及事業を改善・充実し継続実施する。	
③新潟市内で活動する舞踊団体等と連携し、新潟の舞踊文化の向上に貢献する。	
④スタジオBの市民利用機会を確保するため、Noism活動による占用を段階的に緩和し、最終的に年間占用期間を10か月間とする。	
【国内他館との連携】	
①他館との良好な関係性を構築し、国内のネットワーク事業の実現に取り組む。	
②事業費削減や仕込み期間の短縮など、ネットワーク事業に適した企画の立案や作品の創造を行う。	
【Noism以外の舞踊作品の鑑賞】	
①金森穰以外の振付家、若しくは他の舞踊団の公演を実施することに取り組む。	
【コンプライアンスの遵守】	
①館運営方針への対応	
②情報共有	
③指揮命令系統の確認	
④予算執行権の明確化	
【職員の労務管理】	
①人員体制の確保	
②超過勤務の縮減	

### 【評価基準】

A:要求水準(評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている(複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている)

B:要求水準(評価指標)が達成されている(複数の指標の場合、全てが達成されている)

C:要求水準(評価指標)が達成されていない(複数の指標の場合、全ては達成されていない)

(評価指標が達成されているだけなら「B評価」で、その達成度や内容が優れていなければ「A評価」とはなりませんので、ご注意ください。)

### 17thシーズン(令和2年9月～令和3年8月)

( )はウイルスの感染拡大防止のため中止になった数

視点	評価項目	評価指標	自己評価			市評価		
			16thシーズン実績(参考)	17thシーズン実績	評価	評価	評価コメント	
上演活動	質の高い舞踊作品の創造・発信	Noism1 新潟公演数	2回以上	2回	3回	A	A	コロナ禍においても積極的に企画、公演を実施したため評価できる。
		Noism1 新潟公演来場者数	2721名以上(15th実績)	1900名	2076名	C	B	新型コロナウイルス感染症対策のための入場者数制限により減少しているが、入場率は15th実績と同等であるため。
		Noism2 新潟公演数	1回以上	1回	1回	B	B	
		Noism2 新潟公演来場者数	514名以上(15th実績)	134名	513名	B	B	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、要求水準は達成しているものと評価する。
		県外での主催公演数	2回以上	1回(1)	2回	B	B	
地域貢献	新潟市民からの認知度の向上 (自主事業のみ対象)	アウトリーチ活動	2回以上	0回	5回	A	A	目標を大きく上回り評価できる。今後は子ども達の舞踊への理解が一層深まるよう内容の充実を図ってほしい。
		Noismサマースクール(3回×5日間)	15回以上	0回	15回	B	B	
		Noismワンデイスクール	2回以上	0回	1回	C	C	2回の開催に向けて鋭意調整を行っていたが、実施には至らなかった。

17thシーズン(令和2年9月～令和3年8月)

( )はウイルスの感染拡大防止のため中止になった数

視点	評価項目	評価指標	自己評価			市評価		
			16thシーズン実績(参考)	17thシーズン実績	評価	評価	評価コメント	
地域貢献	新潟市民からの認知度の向上 (自主事業のみ対象)	Noismオープンクラス「Noismバレエ」	24回以上	0回(1)	12回	B	B	新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止のため。
		Noismオープンクラス「からだワークショップ(子供)」		0回(1)	1回			
		Noismオープンクラス「からだワークショップ(大人)」		0回(1)	4回			
		Noismオープンクラス「Noismレパトリー」		0回(1)	6回(1)			
	視覚障がい者向けワークショップ	1回以上	1回	1回	B	B		
	柳都会等	2回	1回(1)	3回	A	A	目標を上回ったため評価できる。市民からの認知度向上に向けて内容の充実を図ってほしい。	
	新潟の舞踊文化の向上への貢献	市洋舞踊協会合同公演 振付ワークショップ	2回以上	WS:11回(5)	公演:2回 WS:11回	A	A	地元舞踊団体との協働による作品創造等の活動を評価する。
ワークショップやトーク企画等の依頼企画への出演数(個人活動を除く)		1回以上	5回(1)	7回	A	A	各種団体からの依頼企画に積極的に対応したことを評価する。	
スタジオBの市民利用機会の確保	貸出可能日数(夏季39日)	50日以上	39日	57日	A	A	目標を上回ったため評価できる。今後は市民が利用しやすくなるよう一層の改善を図ってほしい。	
国内他館との連携	国内のネットワーク強化への取り組み	共催企画	2ヶ所以上	1ヶ所(1)	2ヶ所	B	B	
		他館主催	1ヶ所以上	0ヶ所(1)	3ヶ所	A	A	目標を大きく上回ったため評価できる。
		他館等からの依頼による公演・事業の実施(個人活動を除く)		7回	6回(1)	A	A	他館のみならず、地元団体や企業からの依頼に積極的に対応したことを評価する。
	ネットワーク事業に適した作品の創造	他劇場のニーズに応じた作品の創造		有	有	B	B	
Noism以外の作品鑑賞	招聘振付家若しくは他舞踊団の公演を実施	振付家の招聘		1回	1回	B	B	
		Noism以外の舞踊公演	1回以上	0回	1回	B	B	
コンプライアンスの遵守	館運営方針への対応	「活動延長に係る合意書」及び「館の理念・ミッション・アウトカム」を遵守し、8月末日までに次シーズン活動計画を立案のうえ、りゅーとびあへの承認及び市の同意を得る。		立案のうえ承認・同意を得た	立案のうえ承認・同意を得た	B	B	
	情報共有	りゅーとびあ、市との定例会を毎月開催する。		毎月開催した	毎月開催した	B	B	
	指揮命令系統の確認	財団処務規程に定める事務専決事項に基づき企画の採否が決定されている。		事務専決に基づき採否決定した	事務専決に基づき採否決定した	B	B	
	予算執行権の明確化	財団会計規程等予算等に関する各種規程等を遵守し、定められた予算の中で効率的に執行している。		各種規程に基づき効率的に執行	各種規程に基づき効率的に執行	B	B	
職員の労務管理	人員体制の確保	欠員を生じさせない。やむを得ず欠員が生じた場合には速やかに補充する。		適切に人員を確保した	適切に人員を確保した	B	B	
	超過勤務の縮減	制作現場の指揮監督者は、りゅーとびあ職員が36協定を遵守するよう作業工程等を監督する。		監督のうえ遵守した	監督のうえ遵守した	B	B	

自己評価（数値に表れない定性的な評価、アピールポイント）

コロナ禍にも関わらず、感染症対策に留意し、ほぼ予定通りに数多くの事業を遂行することができた。ただし海外公演については、今シーズンもコロナウイルスの影響により招聘決定していたものも断念せざるを得なかった。チューホフ国際演劇祭は5月から11月に延期する等調整を続けたが、最終的に実現できなかった。

国内公演は作品および舞踊家の質の高さから、いずれも好評を博したが、特に、昨年度のプレビュー公演から進化した形で実施した夏公演は、「春の祭典」はじめ全編通底するテーマを感じさせ、そのオリジナリティと時代を描きだしたメッセージ性等、専門家からも称賛された。ロームシアター京都の5周年記念として雅楽演奏グループ・伶楽舎と共演、SaLaD音楽祭(会場:東京芸術劇場)での東京都交響楽団との共演など生演奏での上演機会を得たことで、新たな作品創造の可能性を感じると同時に、客層も広がった。

また、今シーズンは、3月に副芸術監督の井関佐和子が「新潟発の日本を代表するダンサー」として芸術選奨・文部科学大臣賞を受賞、4月に芸術監督・金森穰がこれまでの業績全般に対して紫綬褒章を受章したことで、国からも高く評価されたことで、NHKの全国放送をはじめ、数多くのマスコミに取り上げられた。

新潟に軸足を置いた活動も積極的に行った。リゅーとびあ主催のオルガン・クリスマスコンサートにおいて、専属オルガニストと共演したことで、舞踊ファンのみならず、音楽ファンにも浸透。新潟市洋舞踊協会、ぐるーぷ新潟、ホテルオークラ新潟、シネ・ウインド等、地元の各種団体等から依頼され協働で実施した活動も多く、市民からの認知度の向上につながったと実感している。

昨シーズン、コロナウイルスの影響で実施できなかった学校へのアウトリーチも今シーズンは小学校5校で実施した。子どもたちはみな集中して鑑賞し、終了後、口々に感想を伝えてくれた。今後も継続して実施することで、市民への舞踊芸術の普及と次世代の観客の育成を図っていきたい。

全体評価記載欄（未達成項目への改善策を含む）		市による総合評価（所見）	
	評価		評価
<p>全体として感染症対策に努め、昨シーズン未達成と指摘された「アウトリーチ公演」「オープンクラス」「Noism以外の舞踊公演」といった項目についてもほぼ達成することができた。今シーズンの評価となった公演来場者数については、冬公演等早々に完売となったが、感染症対策として客席数50%制限で実施したため、15thシーズン実績には届かなかった。来場者数の実績値の回復はコロナの感染収束にもかかっているとと思われる。ワンディスクールについては、当初高校生、大学生を対象に各1回開催する予定であったが、大学側と日程が合わず、主催事業としては実施できず、後日新潟医療福祉大学から依頼を受けて大学でのWSを実施した。</p>	B	<p>新型コロナウイルス感染拡大の影響が続くなか、昨シーズン目標が達成できなかった項目については概ね達成されており、オンライン配信等の新たな取り組みを行うなど、全体を通して目標達成に向け善処していることが認められる。</p> <p>上演活動については観客数制限も考慮し、一定の観客数を確保したものと認められ、コロナ禍においても質の高い作品を創造、市内外へ発信するとともに、生演奏による上演を行うなど、観客層の拡大に努めたことを評価する。</p> <p>地域貢献については、昨シーズンは未達成の項目が散見されたが、今シーズンはアウトリーチ活動をはじめ、目標を上回った項目が複数あり、市洋舞踊協会との協働による公演、ワークショップの取り組みなどを評価する。今後も地元団体や企業との協働での取り組みや、ワークショップやアウトリーチなど地域貢献に資する活動は、その内容について常に改善を図り、参加者をはじめ市民の満足度や認知度の向上に努めていただきたい。また未達成の項目については原因を分析し、来シーズンの目標達成に努めていただきたい。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、今後も難しい事業展開が求められると予想される。活動には多額の公金が投入されており、市民の厳しい目が注がれていることも再認識し、感染防止対策を徹底した上で計画的に事業を実施し、市民の文化芸術活動の振興に貢献していただきたい。</p>	B